

3類型	鋳工業品	通巻番号	4 - 20 - 019
地域資源名	尾州の毛糸	認定日	平成20年12月24日
地域	一宮市、扶桑町、江南市、稲沢市、愛西市、美和町、甚目寺町、七宝町、津島市、弥富市、名古屋市	所管省庁	経済産業省

事業名: スパイラルニットやモールといった燃糸技術を活用したマスク紐及び水浄化繊維ろ材の製造販売事業

会社名: 永井燃糸合資会社

所在地: 愛知県一宮市大和町馬引2291

連絡先: TEL: 0586 - 45 - 2753

H P: <http://www.nagai-nenshi.com/>

FAX: 0586 - 46 - 0941

事業概要 (新たな活用の視点)

- 自動車メーカーの生産拠点の海外移転が進行する中、自動車内装材用ファンシーヤーンの技術を活かし、新たな事業分野開拓を目指してマスク紐やろ過機用の繊維ろ材など需要の拡大が見込まれる製品群を開発。
- マスク紐は、長時間耳に着用しても痛くならないスパイラルニット糸をマスクメーカーと共同開発。従来のゴムを芯にしたカバーリング糸や組紐とは違い丸編組織なので中空の構造体を形成していることから痛みを感じないフィッティングが可能。
- 水浄化繊維ろ材は、モール糸を使用して、従来の不織布タイプからさらに使用可能期間を延長した繊維ろ材をろ過機メーカーと共同開発。モール状の立体構造により、従来の布状チップ同等の固形物の補足効果を維持したまま、繰り返し使用が可能。



【スパイラルニット糸の生産】



【モール糸の生産】

売れる商品づくり (競争力、市場性、販路)

競争力

- マスク紐は、収縮応力が低いことから圧迫感が弱いにもかかわらず、かさ高指数があることからホールド感があって長時間着用が可能であり、水浄化繊維ろ材は、繰り返し使用できることから維持費用を低減することができる等機能的、コスト的にも優位性がある。

市場性

- 花粉症対策等によるマスクの市場ニーズ、市場規模は拡大傾向にあり、また、ろ材の需要も従来の砂・砂利の使用から繊維素材へ移行される傾向にあるため、同社商品に対するニーズは高い。

販路

- 従来の取引先に加え、共同開発先の専門メーカーと共同で国内外の展示会に積極的に出展し、全国及び海外展開を視野に新規取引先の開拓に取り組む。

地域における関係事業者等との連携

- 愛知県尾張繊維技術センターとマスク紐の着用性評価技術(ソフト性・圧迫感)の確立において連携しているほか、地域の関連事業者、行政等とも連携を図っている。